



第 19 回 都市水害に関するシンポジウム

開催日：令和3年1月20日（水）～令和3年1月26日（火）

近年、世界各国で異常気象による洪水氾濫や土砂災害が頻発しており、深刻な社会問題となっています。例えば、2020年1月インドネシアではジャカルタを中心に各地で洪水や地滑り、鉄砲水が発生しました。また同年7月中国では、長江の中・下流域において過去30年間で最悪の洪水氾濫が発生し、重慶や武漢など各地で甚大な被害をもたらしました。

一方、我が国においても、集中豪雨や台風による豪雨災害が近年頻発しており、我々の生活や社会経済活動に重大な影響を及ぼしています。2020年7月豪雨では、九州を中心に大雨が流域の広範囲に長時間にわたって降りました。まず、7月3日～4日には熊本県の南部を流れる球磨川が氾濫し、流域の人吉市では市街地が浸水するとともに、球磨村では特別養護老人ホーム千寿園が浸水により14名の犠牲者を出すなど、甚大な被害となりました。さらに7月6日～8日筑後川流域などにおいても日田市、久留米市などで氾濫により甚大な浸水被害が発生しました。これらの地域では近年氾濫被害が度々発生しており根本的な原因究明が望まれています。

さて2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大が「社会の高齢化」と相まって災害時の危機対応を一層困難にしています。今後、2025年頃には団塊の世代が75歳を迎え、4～5人に1人が後期高齢者（75歳以上）という「超・超高齢社会」に突入することから、高齢者をはじめとする災害時要援護者を自然災害から守るための具体的な避難実施のあり方、さらには復興時における受援支援のあり方など多くの課題が浮上しているのが実情です。

土木学会の西部地区（九州・山口）は豪雨災害の頻発地として知られており、長年その実態解明について調査研究が実施され、貴重な研究成果が蓄積されてきています。これらを地域社会に還元し、最新の自然災害科学の普及・啓蒙活動に努めることは重要です。このような状況の中、土木学会西部支部では、1999、2003年福岡水害を契機として「都市水害に関するシンポジウム」を毎年開催し、研究者、実務家、技術者および防災士の方々が一堂に会して最新の知見について討議を行ってまいりました。本年度は、2020年7月豪雨災害を中心に近年発生した豪雨災害について討議することとし、その結果が災害に対する防災・減災の一助になることを期待しています。奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

なお、本年度のシンポジウムは、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、従来の参集型の開催形式から、ウェブ上での発表・意見交換方式に変更して開催することと致します。

記

- 1 主 催 (公社) 土木学会西部支部
- 2 後 援 (一社) 九州地域づくり協会、(一社) 九州地方計画協会
(一社) 建設コンサルタンツ協会九州支部、(公社) 日本技術士会九州本部
博多あん・あんリーダー会
- 3 開催日 令和3年1月20日(水) 10:00～26日(火) 17:00（発表論文内容の閲覧期間）
- 4 開催方式 ウェブ上での発表・意見交換方式
- 5 参加方法 ①土木学会西部支部HP（都市水害シンポジウムのページ）に公開した論文・発表スライドのPDFデータを参加者に閲覧いただきます。なお、PDFの閲覧には、事務局からあらかじめ申込者へ配布するパスワードが必要です。
②発表論文の閲覧期間中にて、論文内容への質疑を受け付けます。質疑の送付先・送付方法は、事務局から申込者へあらかじめ周知致します。質疑内容を事務局で整理して論文発表者へ受け渡したうえで、1週間程度を目処に、論文発表者からの応答・回答を論文・発表スライドと同様に土木学会西部支部HP（都市水害シンポジウムのページ）に公開することを予定致します。
- 6 定 員 定員 150 名程度（論文集の発行・郵送が必要なため、参加人数に上限を設定しています）
- 7 参加費 無料（参加者には、後日、製本した論文集を郵送致します）

- 8 C P D 本シンポジウムは土木学会 CPD 認定プログラムです (JSCE20-0902 : 3.0 単位)。なお、CPD 取得には、申込後にご案内するアンケート (Google Form を予定) への回答が必須となります。また、土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。他団体が運営する CPD 制度に関する内容については回答いたし兼ねます。

9 発表内容

- 1) 「熊本豪雨被災地の現状と課題～熊本県八代市坂本町を対象として～」 熊本県立大学 柴田 祐
- 2) 「2020 年 7 月豪雨における日田市の災害対応について」
日田市防災危機管理課 梶原 秀一・平川 淳史
- 3) 「生命を守る医療提供体制—2018年西日本豪雨から学ぶ—」
医療法人和陽会 まび記念病院 村上 和春
- 4) 「水害と土砂災害が混在した中山間地域における豪雨災害シナリオについて」
元九州大学大学院教授 橋本 晴行

(事情により当初のプログラムを一部変更しています。ご容赦お願い申し上げます。)

- 10 参加申込方法 (公社) 土木学会西部支部ホームページ (<http://www.jsce.or.jp/branch/seibu/>) イベント情報
(「第 19 回都市水害に関するシンポジウム」開催のご案内) から事前申込みをお願いします。

- 11 申込締切日 令和 3 年 1 月 13 日 (水)

- 12 問合せ先 (公社) 土木学会西部支部
〒810 - 0041 福岡市中央区大名 2 丁目 4 - 12 シー・ティー・アイ福岡ビル 1F
TEL : (092) 717 - 6031, FAX : (092) 717 - 6032, E-mail : <jsce-w@io.ocn.ne.jp>
詳細は土木学会西部支部ホームページ (<http://www.jsce.or.jp/branch/seibu/>)
イベント情報の「第 19 回都市水害に関するシンポジウム」開催案内をご覧ください。